

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	北九州エアターミナル 株式会社	所管課	港湾空港局 空港企画課
-----	-----------------	-----	-------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。 また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。 さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。</p>	<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後も、空港ターミナルビルの管理運営の役割を担う経営主体として、長期的に健全な経営を維持する必要があるため、本市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進める。</p>
--	---

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に 目指す状態	新規就航路線を誘致し、貨物取扱量を増加することで、利便性の高い空の玄関口としての機能向上を図るとともに、にぎわいの創出により、空港の更なる利用促進を目指す。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
就航路線（国内）	2路線	3路線	2路線	前年度の実績を維持			
就航路線（国際）	0路線	1路線	3路線				
貨物取扱量	6,841ト	21,000トン	8,451トン				
空港入館者数	171万人	175万人	182万人				

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
<p>団体における評価</p> <p>市等との連携による路線誘致等、利用者数増加に向けた取り組みを進めてきた。国際線定期便就航に伴い家賃収入や設備使用料増加等で、安定的な財務状況を維持した。また、国際線定期便及び連続チャーターに伴う受け入れ環境の整備等により、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として航空会社や航空旅客に提供することに寄与した。 また、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示会を行い、地域の賑わいづくりの場としての役割も果たした。 この結果、空港入館者数においては目標を達成し、就航路線において国内線は前年度の実績維持・国際線は前年度の実績拡大を達成した。</p>	<p>市の評価</p> <p>国際線定期便就航に伴い、家賃収入・設備使用料増により健全な経営の維持に努めるとともに、国際線定期便や連続チャーターに伴う受け入れ環境の整備等により、空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供することにも貢献している。 また、継続的、効率的にイベントや展示会を実施し、地域のにぎわいの創出を図っている。 これらの取り組みにより、空港入館者数は目標を達成し、就航路線において国内線は前年度の実績維持・国際線は前年度の実績拡大を達成したことにつながったものと考えられる。</p>	<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>既存の路線の維持拡大ならびに新規路線の誘致、空港利用者数の増加に向け、引き続き、空港ターミナルビルの管理運営を担う経営主体として、長期的に健全な経営の維持に努める。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>引き続き、市との連携体制を強化し、既存の路線の維持拡大、新規路線の誘致、空港利用者数の増加に向けた取り組みを指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
<p>空港ターミナルビルの管理運営の役割を担う経営主体として、長期的に健全な経営を維持するため、北九州市等との連携による路線誘致活動や集客・PR活動等、利用者数の増加に向けた取り組みや、国際線定期便就航に伴い、家賃収入・設備使用料増による安定的な財務状況の維持に努めた。</p>	